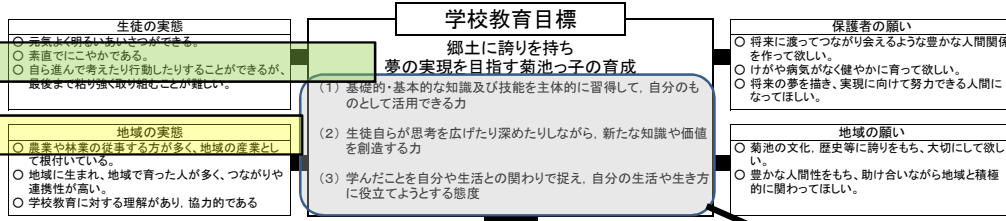


全体計画の作成について

令和元年度（2019年度） ○○市立（町立）○○中学校 総合的な学習の時間 全体計画（例）

菊池教育事務所



総合的な学習の時間の目標
 探究的な見方・考え方を働かせ、地域の人も、このことに関わる総合的な学習を通して、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考えることができるようにするために、以下の資質・能力を育成する。
 (1) 地域の人も、このことに関わる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の特徴やよさに気づき、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることに気づく。
 (2) 地域の人も、このことから問いを見出し、その解決に向けて仮説を立てたり、調べて得た情報を基に考えたりする力を身に付けるとともに、考えたことを、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。
 (3) 地域の人も、このことについての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら自ら進んで地域社会に関わろうとする態度を育てる。

学年	第1学年(50時間)	第2学年(70時間)	第3学年(70時間)
テーマ	地域を知ろう	地域に学ぼう	地域の未来を考えよう
探究課題	地域の自然環境や環境問題とその保全に関わり合う人々や組織	地域の食やそれに関わる地域の産業及び生産者	町づくりや地域活性化のために取り組んでいる人々や組織
知識及び技能	○ 地域の自然環境や環境問題の現状が分かる。 ○ 地域の環境の現状と自分との関わりが分かる。 ○ 情報を比較、分類、関連付けて考えるなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。	○ 地域の食や産物の特徴が分かる。 ○ 地域の食と自分との関わりが分かる。 ○ 情報を多面的に見る、考えを具体化するなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。	○ 町づくりや地域活性化の取組に関わる人々の思いや願いが分かる。 ○ 町づくりと自分との関わりが分かる。 ○ 情報を構造化する、抽象化するなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。
思考力、判断力、表現力等	○ 課題の設定 ○ 情報の収集 ○ 整理・分析 ○ まとめ・表現 ○ 振り返り	○ 自分たちを取り巻く社会に広く目を向け、活動の意図や目的を明確にしたりして課題を見出している。 ○ 解決の方法や手順を考え、見直しをもって計画を立てている。 ○ 目的に応じて手段を選択し、情報を収集し適切な方法で蓄積している。 ○ 他者の意見や課題解決の方向性から、必要な情報を取捨選択している。 ○ 問題状況における事実や関係を把握し、分類して多様な情報にある特徴を見つけている。 ○ 事象や考えを比較したり因果関係を推論したりして考え、視点を定めて多様な情報を分析している。 ○ 調べたり考えたりしたことをまとめ、相手や目的、意図に応じて論理的に表現している。 ○ 国語科や外国語科等で身に付けた技能を活用して表現している。 ○ 学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に生かそうとしている。 ○ 振り返りの観点を自己で設定して活動を振り返り、次の活動に生かそうとしている。	○ 自分の意思で目標をもって課題の解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。
学びに向かう力、人間性等	○ 主体性 ○ 協調性 ○ 自己理解 ○ 他者理解 ○ 社会参画	○ 自他のよさを生かしながら協力して問題の解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。 ○ 探究的な活動を通して、自分の生活及び地域との関わりを見直し、自分の特徴やよさを理解しようとしている。 ○ 探究的な活動を通して、異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重しようとしている。 ○ 探究的な活動を通して、進んで実社会・実生活の問題の解決に取り組むとともに、積極的に地域の活動に参加しようとしている。	

趣旨を反映させる

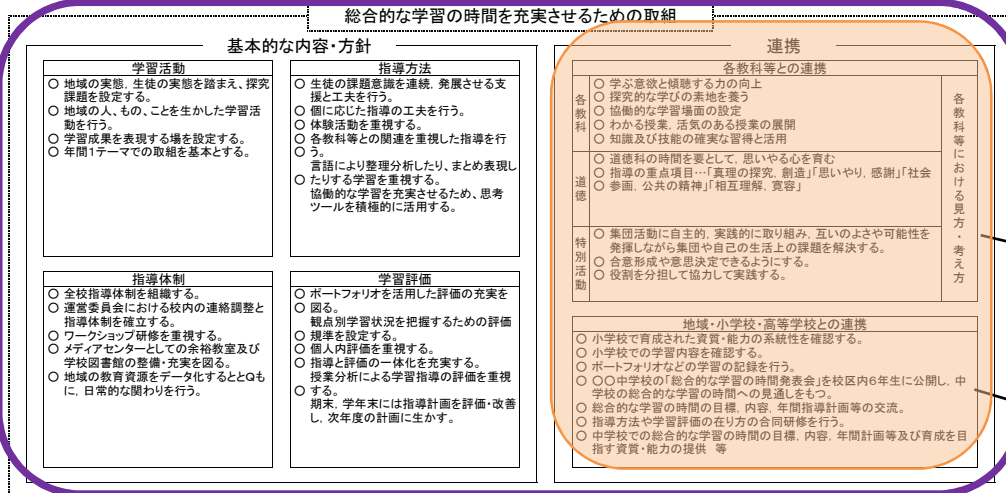
各探究課題に即して具体的に示す

「思考力、判断力、表現力等」の育成については、①課題の設定、②情報の収集、③整理分析、④まとめ・表現(⑤振り返り)の探究的な学習過程が繰り返され、連続することによって実現される。

解説 P75~77

「学びに向かう力、人間性等」については、自分自身に関する事及び他者や社会との関わりに関する事との両方の視点を踏まえること(主体性、自己理解、社会参画)他者や社会との関わりに関する事(協調性、他者理解、社会貢献)

解説 P77~78



全体計画とは、指導計画のうち、学校として、この時間の教育活動の基本的な在り方を表すものである。具体的には、各学校において定める目標、「目標を実現するにむかいたい探究課題」及び「探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力」で構成する内容について明記するとともに、学習活動、指導方法、指導体制、学習の評価等についても、その基本的な内容や方針等を概括的・構造的に示したものである。

第1目標(学習指導要領に示す国が定めた目標)
 探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
 (1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。
 (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
 (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

各学校において定める目標に記された資質・能力

第2 各学校において定める目標及び内容
【目標の条件】
 ○第2の目標は学校が定めること。
 ○第1の目標(上記)の構成に従って、以下の二つを反映させること。
 (1)「探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して」、「よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す」という、目標に示された二つの基本的な考え方をふまえること。
 (2) 育成を目指す資質・能力については、「育成すべき資質・能力の三つの柱」である「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つのそれぞれについて、第1の目標の趣旨を踏まえること。

解説 P18~20

解説 P66~68

第2 各学校において定める目標及び内容
【内容の条件】
 ○「目標を実現するにふさわしい探究課題」を定めること
 探究的に関わりを深める人・もの・ことを示したもの
 ○「探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力」を定めること
 各学校において定める目標に記された資質・能力を各探究課題に即して具体的に示したものであり、教師の適切な指導の下、生徒が各探究課題の解決の取り組み中で、育成することを目指す資質・能力のこと
 探究課題との関わりを通して、具体的に「どのようなことができるようになるか」を

解説 P21~22

解説 P69~84

その他 各学校が必要と考えられる事項
 ○この時間の教育活動の基本的な在り方を示すために必要な事項
 ○箇条書きにするなどの簡潔な記述となるよう工夫する
 ○各要素の関係が分かるよう簡潔に示す
 ○盛り込まれた事項相互の関係が容易に把握できるよう、記述や表現を工夫する

解説 P85~87

効果的な学びのために
 ○各教科との関連を明らかにすること。
 「見方・考え方」「各教科等との関連的な指導」
 ○外部の教育資源の活用及び異校種との連携や交流を意識すること

解説 P92~94